

はち丸っと



名古屋市はち丸在宅支援センターは、名古屋市からの委託事業である「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」にかかる在宅療養支援窓口として名古屋市医師会が設置しています。名古屋市はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応をはじめ、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っています。

令和5年度「在宅医療研修会」「ACP研修会」を開催しました

在宅医療研修会

「かかりつけ医としての在宅医療
～かかりつけ医として、患者さんをずっと診ていきたい～」

令和6年3月16日(土) 14:00～15:00 ライブ配信(当日視聴者67名/参加申込者148名)
3月23日(土)～4月14日(日) オンデマンド配信(視聴回数234回)

当日は、講義と対談による質疑応答の2部構成で行いました。

第1部「はじめよう！かかりつけ医による訪問診療」では、医療法人玲生会 にん内科 院長 任隆光先生より、かかりつけ医として患者さんに訪問診療を導入する際の考え方や、導入時に診療所として行う事務的な確認項目、実際の診療の流れに沿ったポイントについて説明がありました。

第2部「在宅医療、こんなときどうする？」では、聞き手にかわなかクリニック 院長 佐野由衣先生を迎え、任先生との対談形式で事前に寄せられた質問について回答しました。地域で訪問診療に取り組む両医師の経験、具体的なアドバイスが織り込まれた対談となりました。



講義テキスト等は
こちら↓



ACP(アドバンス・ケア・プランニング)研修会

スキルアップ編
「本人にとっての最善」を多職種で考える

令和6年3月9日(土) 14:00～16:30 対面開催(参加者61名)

これまでののはち丸在宅支援センター開催の研修会においてACPの基礎的な知識を習得した多職種を対象とし、講義とグループワークを行いました。

講義では、医療法人 丸井医院 木本昌子先生より「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を踏まえ、「臨床倫理の4分割表」を用いて「本人にとっての最善」にアプローチしていく検討方法について説明がありました。

グループワークでは、事例に基づいて実際に4分割表で情報を整理し、「本人の意向が反映された医療・ケアに繋ぐためにどうしていくとよいか？」を多職種によるグループでディスカッションしました。本人の意向とQOLに着目しながら、チームとしてどのように支援できるかを考えました。



講義テキスト等は
こちら↓



皆様、こんにちは。名古屋市北区で開業して10年目になります、かわなかクリニックの佐野です。名古屋市医師会の在宅医療・介護連携委員会の委員を拝命しておりました。

当院は外来を中心とする診療所で、足腰が弱くなった等の理由で通院できなくなった方を中心に、細々と訪問診療を行っています。在宅医療においては、訪問看護、ケアマネジャーを中心とする多職種連携が大切ですが、その情報共有ツールとしてのはち丸ネットワークをご紹介します。

はち丸ネットワークでは患者さんごとにチャットルームを立ち上げることができ、その方に関わる多職種が療養のために必要な情報を共有する事ができるようになっています。共有した方がいいけれど急ぎでもないこと、また、治療の面から注意した方がいいことなどを、電話やFAXよりも気軽に書き込むことができます。写真を添付することもでき、特に褥瘡がある患者さんなどでは視覚的に皮膚の状態を確認することができるので、大変助かっています。

使い勝手の面でも改善を重ねています。アプリ版ができVPN接続が不要になったことで、スマートフォンやタブレットから使いやすくなり、また、患者さんから取得する同意書もホームページからダウンロードできるようになりました。厚生労働省が認めるセキュリティ基準を満たしているのも安心ですね。これからもどんどん使いやすいシステムになっていく事を期待しています。

高齢化社会の中で、多職種連携の重要度はますます増えています。システム登録はしたけれど使っていない事業所もあると思います。便利になったはち丸ネットワークを是非もう一度使って、みんなで繋がってみませんか。ご不明点はお気軽に名古屋市はち丸在宅支援センターまでお問い合わせください。

はち丸ネットワーク
HPはこちら↓



名古屋市はち丸在宅支援センター

- 住所 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-4-3 大信ビル2階
- 受付時間 月曜日～金曜日 9時～17時 ※祝日・年末年始は除く
- 電話 052-971-0874
- FAX 052-971-0875
- ホームページ <https://hachimaru.ishikai.nagoya>



令和6年度 名古屋市はち丸在宅支援センターの取り組みをご紹介します。

令和6年度 「在宅医療研修会」「ACP研修会」について

●在宅医療研修会 「在宅訪問診療点数のポイント～令和6年度診療報酬改定を踏まえて～」
6月15日(土)～28日(金) オンデマンド配信(参加申込者数133名、視聴回数230回)

参加申込の職種は6割が医師、次いで2割が診療所と病院の事務職でした。アンケートより、講義内容については「改定された新たな点数がわかった」「訪問診療の診療報酬算定は複雑」「変更点を重点的に教えてほしかった」等のご意見をいただきました。また開催方法について「対面開催が良い」「動画視聴形式は、時間を融通しやすい」「いつでも視聴できるようにしてほしい」とのご意見をいただきました。今後の研修の参考とさせていただきます。

●ACP(アドバンス・ケア・プランニング)研修会 基礎編
令和7年1月25日(土)・30日(木) 開催予定

ACPとは何か、その支援過程において常に立ち返るべき最も大切な「基礎」を学ぶ研修会です。在宅療養者の支援に携わる医療・介護の多職種の皆さまに共通する基礎知識を講義とグループワークを通して身につけていただくプログラムです。

今年度は内容をリニューアルし、対面による開催を2回予定しています。開催案内は12月より当センターホームページに掲載するとともに、関係機関へ配布いたします。ぜひご参加ください。

医療資源MAPをご活用ください！

名古屋市はち丸在宅支援センターでは、令和元年度から市内の医療機関・訪問看護ステーションを対象に、医療資源調査を行い、在宅医療への取り組み状況や訪問エリア、連絡先、対応可能な在宅医療などの把握を行っています。新規開院・開設した医療機関・訪問看護ステーションに調査への協力を依頼し、情報の更新に努めています。

調査結果は、当センターが在宅療養の相談対応に活用するほか、市民や多職種の皆さんが医療・介護資源の情報を閲覧できるよう当センターホームページの「医療資源MAP」に掲載しています。「医療資源MAP」には検索機能があり、医療機関は所在区、診療科目、往診や訪問診療の実施状況やその対応エリア、対応可能な在宅医療での検索が可能です。また訪問看護ステーションは所在区、訪問エリア、対応可能な在宅医療などから検索が可能です。(公開に同意いただいた医療機関・訪問看護ステーションのみ掲載。掲載内容は、調査時点の内容を基にしていますのでご注意ください。)

ぜひ在宅療養者を支援する際にご活用ください。



16区 在宅医療・介護連携推進会議の主なテーマ

名古屋市医師会と各区医師会は、医療と介護の連携推進のため、医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション・ケアマネジャー・介護サービス事業者・いきいき支援センター・行政等の関係者を構成員とする会議を設置し、在宅医療・介護連携及びかかりつけ医による在宅医療の提供について、現状把握と課題の抽出・対応策の検討を行っています。

当センターは各区会議の事務局として、地域の関係機関・多職種の皆さんとより円滑な連携体制の構築に向け取り組んでいます。

会議は年に2回程度開催されており、今年度第1回は5月から7月にかけて各区で開催しました。第2回は順次開催予定です。今後とも各区会議にご協力お願いいたします。

千種区	東区	北区	西区
多職種連携における課題の共有と対応策の現状把握	多職種連携における課題の抽出と共有	・災害時における連携について ・かかりつけ医とケアマネジャーの連携について	多職種連携における課題の共有と対応策の検討
中村区	中区	昭和区	瑞穂区
・病院との連携(窓口の明確化)について ・ACP支援について	・多職種連携における課題の共有と対応策の検討 ・病院との連携(窓口の明確化)について	・災害時におけるはち丸ネットワークを活用した情報共有について ・ACP支援について	・多職種連携における課題の共有 ・ICTツール(はち丸ネットワーク)を活用した情報共有について
熱田区	中川区	港区	南区
・多職種連携における課題の共有と対応策の検討 ・ケアマネジャーと多職種の連携について	・多職種と行政等関係機関の相互理解促進について ・医師とケアマネジャーの連携について	多職種間の相互理解促進に向けた対応策(病院と訪問看護師との連携等)について	・市民と多職種双方に対するACP普及について ・ICTツール(はち丸ネットワーク)の活用について
守山区	緑区	名東区	天白区
多職種間の相互理解促進に向けた対応策(多職種連絡会)について	・多職種連携における課題の共有 ・入院・入所時及び、退院時の情報共有について	・入退院時における多職種連携について ・ICTツール(はち丸ネットワーク等)を活用した情報共有について	・医療連携について ・ICTツール(はち丸ネットワーク)を活用した情報共有について